

政策評価調書(28年度実績)

政策名	「まち・ひと・しごと」を支える交通ネットワークの充実	政策コード	Ⅲ-4	関係部局名	土木建築部、企画振興部、商工労働部
-----	----------------------------	-------	-----	-------	-------------------

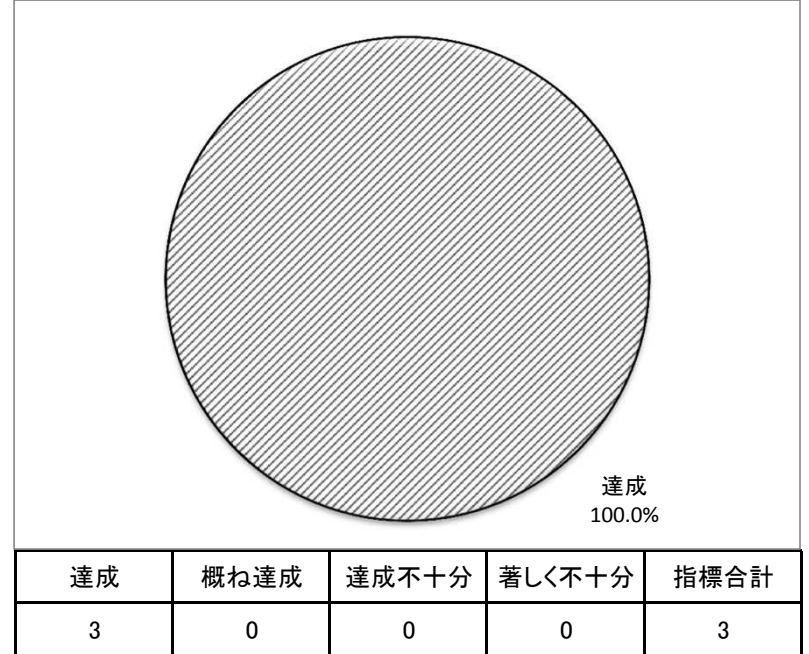
【Ⅰ. 政策の概要】

高速バス、フェリー、航空機などの広域公共交通ネットワークの充実、フェリーターミナルや港湾の機能強化など、九州の東の玄関口として人や物の流れの拠点化を推進するとともに、広域道路交通網整備や東九州新幹線の整備計画路線格上げの取り組み強化、産業や生活を支える道づくり、快適な都市空間の形成などを進め、まち・ひと・しごと創生を支える基盤を整備する。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	人の流れ、物の流れの拠点づくり(九州の東の玄関口としての拠点化)	達成	A
2	広域交通ネットワークの整備推進	達成	A
3	まちの魅力を高める交通ネットワークの構築	達成	A

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

東九州自動車道が北九州市から宮崎市までつながり、九州の循環型高速道路ネットワークが形成され、人の流れ、物の流れが活発化している。本県は、本州・四国との間を結ぶ多くのフェリー航路を有し、海路と陸路が結節する位置にあることから、H29年3月に「九州の東の玄関口としての拠点化戦略」を策定し、多くの人・物が本県を介して九州内外を行き来する状況をつくることで、経済活性化・雇用創出を促進し、地方創生を加速することとしている。

東九州新幹線については、H28年10月に「大分県東九州新幹線整備推進期成会」を設立し、国への要望や機運醸成に向けたシンポジウムを開催するなど、整備計画路線への格上げに向けた活動に取り組んでいる。

また、広域道路交通網の形成や大規模災害時のリダンダンシー確保の観点から、中九州横断道路や中津日田道路などの地域高規格道路の整備等を推進する。

さらに、都市部における交通渋滞の解消や公共交通の利用促進、通学路の交通安全対策等にも、引き続き取り組む必要がある。

【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
該当なし	—